

1 水環境広報活動に係るアンケート調査

まちの先生見本市会場において来場者、担当者に、並行して会員にメールを活用してアンケート調査を行った。全体で16名(下水道利用者9名、会員7名)から回答があった。以下はその概要結果です。

・下水道利用者への「下水道のはなし(出前授業)を聞いたことがあるか」との質問に対し、回答は下記の通りでした。

下水道の話を聞いたことがあるは6名で66%

水道の話を聞いたことがあるは5名で56%

それ以外の水環境については7名78%

回答間の関連性については明確な傾向は見つけられなかった。

・希望する授業項目としては、次の事項が挙げられた。

水道から下水道まで繋がりのある授業

下水道の役割(生活とのかかわりの視点で)

水環境・水循環・水資源

水の使い方(都市は周囲から水をもらっている、効率的、合理的な水使用を)

災害時の水道・下水道、

微生物の働き

民営化の理解促進

・希望・期待する授業設備としては、次の事項が挙げられた。

五感に訴える授業設備

体験型・経験型・参加型の授業をめざし、そのための体験設備、動く模型

下水道・水道ミュージアム、ギャラリー

(機材展示ミュージアムでは来場者が体験でき、運転できるもの)

AVギャラリー

水道、下水道一体としたまちの施設(ジオラマ風水循環、ミニチュア版まちと水環境)

・授業の方針として、以下のことが挙げられた。

小学生には触れる・楽しむを基本に、中学生には学ぶ形での構成を

生活とのかかわりなどイメージしやすい所から

保護者、高齢者向けも、特に水の安全は母親の関心が高く有力なアプローチ

受講者に強く印象を与える方法として体験型・体感型に加えて、反語調の採用

・連携方策として以下のことが挙げられた。

ネットワークの力はすごいとの指摘

連携としては縦割りではなく、横の繋がりで柔軟な対応を

市民・学校・団体との連携、CSR活動団体(企業)との連携

上下水道部局に加えて環境部局・市民部局との連携

就職活動関連部局との連携

・その他の提案

上下水道一体での広報特に水道の民営化は水の安心安全にプラスであるとの広報

下水道は見えないところで町の生活活動を支えているが、その仕事は大変であることに気付いてもらう

広報

水環境広報促進イメージは上下水道限定ではなく海・川・湖の水質保全や植物・魚・虫・鳥などの生態も含む

森林保護の大切さ、温暖化にかかわるゴミの減量化などへの拡大も

上下水道管路のマネジメントの情報提供も

SDGsとの関連で水ビジネスに関する広報も

下水道マン、水道マンの研修施設も要素

2 アンケート調査より課題抽出

アンケートからキーワード整理を行い今後の課題分野を下記の4つに分類した。

- ・【連携促進】 市民、学校、団体との連携、会員の拡大
マスメディア、吊り広告など媒体の活用
上下水道企業との連携
他の展示館との連携
教育委員会、市民課、環境課との連携
上下水道分野以外の社会貢献団体との連携
- ・【体験型学習】 上下水道の清掃・調査・補修の体験型展示、上下水道探検
動く実機・模型、下水道迷路などの設備
管路の清掃・調査・補修体験施設
上下水道実験
AVの活用
高インパクト物の展示(オイルボール級)
テキスト整備
- ・【学習施設】 上下水道ミュージアム、上下水道遺産、上下水道ギャラリー、
下水道維持管理の歴史&機材の変遷
AVの活用
遺産写真展示
下水道から見た社会
水と生き物とまちのジオラマ
テキスト整備
- ・【水循環体験】 生活と水環境、水循環、ビオトープ
きれいな川と汚い川の比較(水環境)
水循環ジオラマ
地球規模での水問題
水は生き物全ての基本